科目名	社会科・公民科教育法Ⅰ	
担当者	野浪 俊子 / NONAMI, Toshiko	
科目情報	教職専門科目 / 選択 / 前期 / 講義 ・演習/ 2単位 / 2年次	
科目概要	授業内容	社会科・公民科の指導法について学ぶ。 特に中学校社会科「公民的分野」と高等学校公民科（「現代社会」「倫理」「政治・経済」）における社会科・公民科の目標・指導内容・指導計画・指導方法について学ぶ。
	到達目標	(4) 中学校（社会科）・高等学校（公民科）の学習指導要領に基づき社会科・公民科の目標・指導内容・評価について理解する。 (5) 学習指導要領に基づき、基礎的な社会科・公民科の実践的指導内容と指導法について理解を深める。 (6) 社会科・公民科における教材分析や授業計画に基づき学習指導案の立案・作成や実践的指導力を身につける。
授業計画	(1) Ⅰ 社会科・公民科教育の教育的意義 ①社会科教育の成立と教育的意義 (2) 〃 ②社会科教育の変遷と公民教育 (3) Ⅱ 中学校社会科「公民的分野」の目標と指導内容①(学習指導要領の解釈) (4) 〃 の目標と指導内容②(学習指導要領の解釈) (5) Ⅲ 高等学校「公民科」の目標と指導内容（学習指導要領の解釈） (6) 〃 ①「現代社会」の目標と指導内容 (7) 〃 ②「倫理」の目標と指導内容 (8) 〃 ③「政治・経済」の目標と指導内容 (9) Ⅳ 指導法・授業研究 ①公民科の指導法と教材研究（中学校） (10) 〃 ②公民科の指導法と教材研究（中学校） (11) 〃 ③公民科の指導法と教材研究（高等学校） (12) 〃 ④公民科の指導法と教材研究（高等学校） (13) Ⅴ 授業実践演習 ①公民科の学習指導案の検討・発表（班別課題） (14) 〃 ②公民科の学習指導案の検討・発表（班別課題） (15) 〃 ③公民科の学習指導案の検討・発表（班別課題）	
自学自習	事前学習	・「使用教材・参考文献」を前もって読んでおくこと。 ・意味のわからない用語は辞書等で事前に調べておくこと。
	事後学習	・使用教材や参考文献に基づき社会科教育法について理解を深めること。 ・新聞記事等の時事問題を活用して社会科教育について省察すること。
使用教材・参考文献	【教】文部科学省『中学校学習指導要領解説 社会科編』日本文教出版 2008年 ISBN 9874536590051 文部科学省『高等学校学習指導要領解説 公民科編』日本文教出 版2010年 ISBN 9874316300238 【参】日本公民教育学会編著 『テキストブック中学校・高等学校・公民教育』 第一学習社 2004年 ISBN 9784804075099 柴田義俊松 編著 『社会科・地歴・公民科 教育法 』 学文社 2009年 ISBN 4762019577	
成績評価方法と基準	＜基準＞社会科・公民科の目標・内容・授業構成について理解することにより、実践的指導力の基礎を習得し、学習指導案を立案・計画することができることを合格の基準とします。 ＜方法＞学習指導案作成(50%)、小レポート(30%)、受講態度(20 %)を目安に評価します。	
備考	・「社会科・公民科教育法Ⅱ」を履修する前に履修すること。	